

資料番号

地域 8

令和 7 年 8 月 19 日

課 名 地域政策局

平和推進プロジェクト・チーム

担当者 担当課長（国際連携担当）西澤

内 線 2466

「核の歴史に関するサマーキャンプ in ひろしま 2025」の開催について (被爆・終戦 80 年「若者が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」)

1 要旨・目的

核兵器廃絶に貢献できる若者の人材育成を図るため、日本を含む世界 13 カ国から核分野の若手研究者を広島へ招いて、核の歴史や研究方法などを学ぶための対面での集中合宿を「ローマ・トレ大学」と連携して実施する。

2 現状・背景

- 被爆・終戦 80 年「若者が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」事業の一つ。
- 当初は、米国の著名シンクタンク「ウィルソン・センター」と連携して、同センターが実施する集中合宿を誘致する形で、実施予定であったが、トランプ大統領の大統領令により、同センターが一部プログラムを除き活動を停止した。
- その後、これまで上記集中合宿の企画・運営の中核を担ってきた「ローマ・トレ大学（政治学部）」から事業を引き継ぎたい旨の申し出があったため、これを了承し、覚書を締結した上で、予定通り事業を実施することとした。

3 内容

(1) 実施主体

広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOP e）、ローマ・トレ大学

(2) 受講者

国内外の核分野の若手研究者等 15 名 ※日本を含む 13 か国から参加

(3) 事業内容

- ・核の歴史に関する講義
- ・講義を踏まえた講師と学生との意見交換
- ・学生による研究発表と講師陣によるフィードバック

(4) 期間

令和 7 年 9 月 7 日（日）～15 日（月祝）

(5) 場所

広島市国際青年会館（広島市中区加古町 4-17）

4 公開シンポジウム

(1) 趣旨

集中合宿の一環として、県民向けの公開シンポジウムを開催する。

(2) 日時

令和 7 年 9 月 13 日（土）13:30～16:30

- (3) 場所
広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田町 1-1-89）
- (4) 主催
広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOPe）、広島大学、ローマ・トレ大学
- (5) テーマ
世界は核抑止への依存をどのようにして低減できるか
- (6) 開催方法
ハイブリッド（対面+Zoom ライブ配信）
- (7) 参加者
100 名程度（対面）
- (8) 内容（案）

時間	内容	登壇者等
13:30-13:40	開会挨拶	広島県知事/HOPe 代表 広島大学学長
13:40-14:50	セッション1 世界は核抑止への依存をどのようにして低減できるか	【モデレーター】 岩間陽子 （政策研究大学院大学教授） 【パネリスト】 <ul style="list-style-type: none"> ・ ジョセフ・ピラット（ロシアラモス国立研究所 国家安全保障・国際研究センター プログラム・マネージャー） ・ デビッド・ホロウエイ（スタンフォード大学名誉教授） ・ マリアナ・ブジェリン（ハーバード・ケネディ・スクール・ベルファー・センター シニア研究員） ・ マシュー・ジョーンズ（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）教授） ・ トン・ジャオ（カーネギー国際平和財団（中国）核政策プログラム・シニア・フェロー） ・ 西田充（長崎大学多文化社会学部教授）
14:50-15:05	休憩	—
15:05-16:15	セッション2 セッション1を踏まえた意見交換	参加学生4、5名による発表（地域的な多様性を考慮して選定）
16:15-16:30	閉会挨拶等	

- 5 予算
49,047 千円

- 6 その他（関連情報）
被爆・終戦 80 年特設ウェブサイト（核分野の若手研究者集中合宿）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-summer-camp.html>